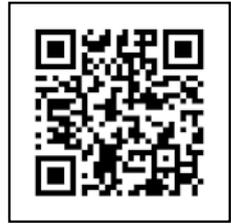


# Chino Cultural Community 茅野市公民館報



茅野市中央公民館 ☎72-3266  
茅野市宮川 4 5 5 2-2

No.687 発行:長野県茅野市中央公民館 編集:広報専門委員会 印刷:株中央企画 発行日:2024年(令和6年)11月1日

ゆきどけ.....	1
これからを考える座談会報告.....	2~3
公民館講座受講生募集・ロビー展.....	4~5
高齢者大学「冬の講座」受講生募集.....	6
講座報告「地元の歴史遺産を学ぼう」.....	7
分館あらかると・ふるさと発見.....	8



夏やすみ子ども体験教室【親子茅野学講座】「諏訪鉄山」(詳細は7ページ)



この文章を書いているのは9月の下旬。まだまだ暑い日々が続いています。茅野市の皆様はいかがお過ごしでしょうか。私は本年より豊平広報専門委員を担当することとなった、長田知明と申します。平成29年から3年に渡り下古田の広報部長を務めました。どうぞよろしくお願ひします。

私は信条にしている言葉がひとつあります。

「立場が人を育てる」  
これは大河ドラマ『真田丸』の第41話において、真田幸村の兄・真田信之(天泉洋)が放ったものです。信之は2人の息子から嫡男及び大阪攻めの大将を選びます。この時信之は、武芸に秀でた信政ではなく、書物を好む信吉を嫡男に抜擢します。信吉は先に生まれたものの正妻の子ではなく、その居場所を案じたためです。信之はこう続けます。「そのぶん信吉には死に物狂いで精進してもらわねばならぬがな」

自分の居場所は自分で作り、守れと言っています。  
人は誰でも生まれ落ちた時から様々な立場を背負います。男であれば女であれ、いろんな境遇、家柄、兄弟など立場はいくらでもあります。それこそ十人十色。桜梅桃李というもの。そして年をとればとるほど立場は増えます。こういったひとつひとつの立場に従事し精進することで、結果として人は成長するのではないのでしょうか。

また私が思う立場をこなすコツは、情熱を持って丁寧に役目を果たすことだと思ひます。雑にこなせば、雑な結果が返ってきます。まさに立場は己を映す鏡。

最後になりますが、この専門委員という役は10年以上担当すると聞きました。確かに周りの先輩専門委員さんたちは強者ばかり。その中で私の文章はつたなく恐縮ですが、何か至らぬ点がございましたら、中央公民館にお伝えください。お答めはいくらでもお受けします。それでは各々ぬかりなく...

(付記)

真田幸村(堺雅人)が大阪の陣のために大阪城に入城した際、まず幸村は豊臣秀頼に兵糧について問ひます。兵糧が少ないと感じた幸村は、すぐに兵糧の確保を秀頼に進言します。お米不足はもつてのほか、武田信玄を敬い、上杉景勝と直江兼続から上杉の「義」を学んだ幸村は、やはり戦国最強の武将の一人でしょう。令和の米騒動を思ひながら...

(長田 知明)

## 社会教育関係団体の皆さんと

# 座談会

## これからの公民館はどうあるべきか

広報ちのでは、「行財政改革待ったなし!」と題して茅野市の財政状況についてたびたびお知らせされています。

現在、茅野市の財政は大変厳しく、このまま何の手も打たなければ、基金（一般家計でいえば預金）が3年後には底を尽きてしまうと予想されています。こうならないために、市は公共施設の統廃合、事業や職員数の見直し、補助金の見直し、施設使用料の見直しなど、財政立て直しのための取組を進めています。施設使用料については、市内公共施設の全てにおいて、料金や減免規定が改められる方針が打ち出されています。

中央公民館についても、現在は社会教育関係団体が使用する場合は、おおむね全額免除で各部屋をご使用いただいておりますが、来年度からはこの方針に従い半額をご負担いただく見通しです。

現在、社会教育関係団体の多くは、

高齢者施設や保育園などへコンサー

トに赴いたり、小中学校の授業のなかで楽器指導やスポーツの指導を行ったりと、様々なボランティア活動を行っております。また、中央公民館で行う芸術祭への参加を通して、茅野市の芸術文化の振興に貢献するなど、その学びの成果を地域に還元する活動をしています。こうした活動を支援するため、中央公民館や地区公民館の施設使用料を減免としてきました。各団体が使用料を負担するようにになれば、これまで通りの活動を続けていくことが困難になる団体もあるでしょう。

しかし、これからは、公民館、ひいては茅野市の運営そのものが難しくなっていくというのが現状です。こうしたなかで、公民館や社会教育関係団体が今後どうしていくべきか、一緒に考えたいという思いで、座談会を開催しました。

開催の呼びかけにに応じていただき

た約10名の皆さんに、現在の茅野市の財政状況、公民館の運営状況、施設使用料についてなどをご理解いただき、社会教育関係団体として今後どう活動していくか、公民館に望むことなど、膝を突き合わせて話し合いました。座談会での内容と、別に集めた社会教育関係団体の皆さんからのアンケート結果についてご紹介します。

### 茅野市の財政状況について

#### 主なご意見

- 財政状況については新聞等でも報道されているので、何となくは知っていたが、こんなにも厳しいとは知らず驚いた。
- なぜ、こうなるよりもっと前に対策しなかったのか。
- 他市から移住してきたが、人口5万人にしては、公共施設の数が多いとは思っていた。施設の統廃合は進めた方が良い。
- 施設の統廃合が必要なことは理解できるが、あとで「やっぱりやるべきではなかった」とならないように慎重にしてほしい。

### 使用料について

#### 払うのは賛成、でも…

#### 主なご意見

- 使用料を半額払うようになって、



▶ 座談会の様子

それでどのぐらいの収入が見込めるのか

- ↓中央公民館の施設維持等のコストとしては年約2000万円かかっています。(人件費除く)
- 各団体が今と同じ程度に活動されたとすれば、年約180万円程度の収入となる見込みです。
- 実際に使っている人がお金を払うのは賛成。
- 少額でも払うようになれば、市民みんなが意識するようになるのでは。
- 払うべきという気持ちはあるが、会員も年金生活の高齢者だったり、会員数が減ったりしていくと一人あたりの負担が増えて、活動を続けていくことが難しくなりそうで心配。
- 富士見町では年2回、奉仕活動として公民館の掃除をしている。雪かきなど、そういった協力でもできれば。

## 今後の活動の展望、悩み

### 主な意見

- 家族の形態や働き方が昔と変わってきている。寺子屋のようなかたちで、地域で子どもを育てていくようなことができれば。
- 会員数が減ったり、やめたりする

団体も出てくるだろう。この先、どういう世の中になるのか心配。それに対して、私たちはどういふふうにしていけば良いのか。

- 高齢化で会員数が減ってきている。今までは別のやり方を考えていかなければいけない。何を残して何をやめるか…。

## 公民館のぞむじつ

### 市民の想いは消しちゃいけない

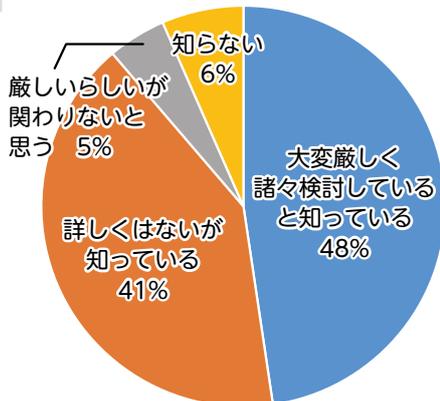
- 茅野市のため、地域のためと思って様々なボランティア活動もしてきた。市民の想いを、お金がないからといって一方的に消さないでほしい。施設の閉鎖や事業を終わりにする場合は、市民と行政がきちんと話をしてお互い納得して進めてほしい。
- 今いる会員はだんだんに年をとっていくが、新しい人がなかなか入ってこない。けれども、意外と若い人で興味をもってくれる人もいる。次世代に繋げていくためにも、新しい会員を増やすことに協力してほしい。
- 人口減少、高齢化はどうしても変わらない事実。それに対し今後どうしていくか。生きがい、やりがいが低下するのは避けたい。生き生き活動していきたい。

## アンケート結果から

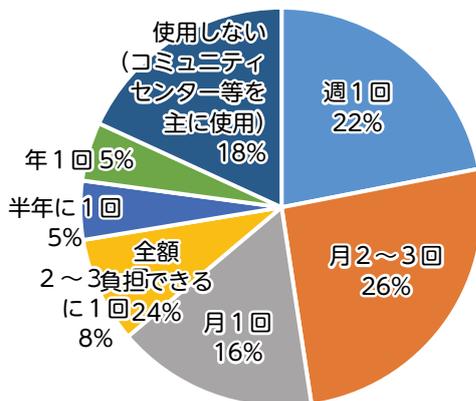
座談会には参加されなかった団体からもアンケートで今後について回答をいただきました。アンケートで寄せられたご意見では、「存続させていくためには費用負担もやむを得ない」と感じる一方、「会員に年金暮らしの高齢者やひとり親世帯も

いて、金銭的負担をあげたくない」といった意見や、「減免がなくなると、これまでの活動を同じように続けていくことが困難になる団体が出てきて、社会教育活動が先細るのでは」と茅野市全体としての今後を憂う声もあがりました。

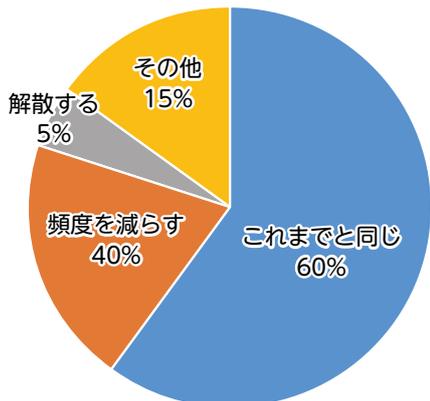
財政状況認知度



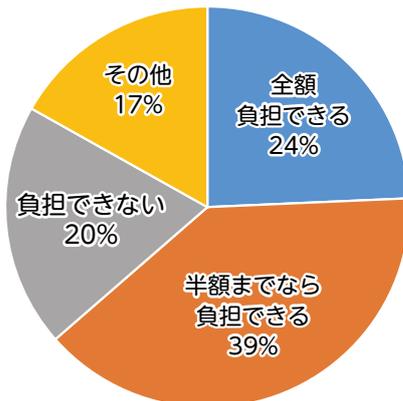
中央公民館の現在の使用頻度



使用料負担する場合の今後の使用頻度



使用料を負担できるか



# 公民館講座受講生募集

(キャンセルする場合はできるだけ早めに茅野市中央公民館担当までお申し出ください)

※ 講座を受講するにあたり、手話通訳などを希望される方は申込時にお知らせください。

## はじめての囲碁講座

紫式部も嗜んだといわれる囲碁を、初歩から丁寧に教えます。  
楽しみながら思考力が身につく、盤上の格闘技にチャレンジ！  
子どもも保護者も一緒に！ 未経験者、女性の参加者大歓迎です。

**日 時** 11月27日、12月4日、11日、18日  
(水曜日 全4回)  
午後7時～午後8時(8時30分まで居残り可)

**会 場** 茅野市中央公民館3階 第3会議室

**講 師** 井上 亮 先生  
(第38期信州囲碁アマ棋聖  
茅野子ども囲碁クラブ 代表)

**受講料** 1,000円 **持ち物** 筆記用具 **定 員** 15名

**受講資格** 市内在住・在勤・在学者(年少相当児以上のお子さんから対象です)

**受付開始** 11月1日(金)正午～(電話またはインターネット先着順)



受付開始

11月1日(金)正午～  
(電話またはインターネット、先着順)



▲ 申込フォーム

## 親子で学ぶ！ お金のキホン講座

「はじめよう おうちで未来の『おかね』のはなし」セミナー

クリスマスにお正月、お子さんが大きなお金を手にする機会が多くなる季節です。



**日 時** 12月7日(土曜日)午前10時～午前11時

**会 場** 茅野市中央公民館2階 学習室

**講 師** 明治安田生命「MY 定期講座」講師

**内 容** お金の仕組みや上手な付き合い方、今の時代に必要な備え方など、  
クイズ形式で楽しみながら学びます。

**費 用** 無料 **持ち物** 筆記用具

**定 員** 親子10組(親1人に子ども2～3人等でも大丈夫です)

**受講資格** 市内在住親子(小学生のお子さん対象)

**受付開始** 11月6日(水)正午～(電話またはインターネット先着順)

受付開始

11月6日(水)正午～  
(電話またはインターネット、先着順)



▲ 申込フォーム

お問い合わせ・申込先 茅野市中央公民館 ☎ 72-3266 (窓口受付は行いません)

# 公民館講座受講生募集

(キャンセルする場合はできるだけ早めに茅野市中央公民館担当までお申し出ください)

※ 講座を受講するにあたり、手話通訳などを希望される方は申込時にお知らせください。

## 天然酵母パンづくりと コーヒーの淹れ方講座 (中級編)

～カフェ開業を考えている方や、  
一つ上のおいしさへの  
こだわりを求める方へ～

### 受付開始

11月1日(金) 午前10時  
～8日(金) 午前10時  
(電話または  
インターネット抽選制)

<b>日 時</b>	11月25日(月)、26日(火)、 12月2日(月)、3日(火)、9日(月)、10日(火) (全6回 月・火曜連続) 午後1時30分～午後3時30分
<b>会 場</b>	茅野市中央公民館 2階 料理実習室 (1～5回目) カフェ午後の森 (6回目 住所：茅野市北山3429-1)
<b>講 師</b>	中村由香 先生(パン担当)、中村茂 先生(コーヒー担当)
<b>内 容</b>	1回目【パン】 シンプル生地のごね 【コーヒー】 ローストの違い・産地の違い 2回目【パン】 成形・焼成 【コーヒー】 淹れ方と挽き方による味の違い 3回目【パン】 フォカッチャ生地のごね 【コーヒー】 手網焙煎にチャレンジ 4回目【パン】 成形・焼成 【コーヒー】 アレンジコーヒーを楽しむ 5回目【パン】 フランスパン生地のごね 【コーヒー】 こだわりのネルドリップ 6回目【パン】 成形・焼成 【コーヒー】 マイブレンドをつくろう (業務用オーブン使用) (ブレンド豆50gは持ち帰り)

<b>受講料</b>	5,400円 (受講料1,000円、教材費4,400円)
<b>持ち物</b>	エプロン、三角巾、手拭きタオル、ふきん、筆記用具
<b>定 員</b>	16名 <b>受講資格</b> 市内在住、在勤、在学者
<b>受付期間</b>	11月1日(金) 午前10時～11月8日(金) 午前10時 電話またはインターネットからお申込みください。 ※定員を超えるお申込みがあった場合は抽選となります。



▲ 申込フォーム

<b>抽選結果</b>	11月11日(月)以降にメールまたは電話にて連絡
<b>その他</b>	・過去の「天然酵母パンとコーヒーの淹れ方講座」を受講された方も受講できます。 ・講座最終回は中央公民館ではなく、「カフェ午後の森」で行います。 ・抽選等についてご不明な点がございましたら、事前にご連絡ください。

お問い合わせ・申込先 茅野市中央公民館 ☎ 72-3266 (窓口受付は行いません)

## ロビー 企画展

会 場 茅野市中央公民館 1階ロビー  
開館時間 月～土曜日 午前9時～午後9時30分  
日曜日 午前9時～午後5時30分 (第3日曜日休館)

### 第66回茅野市美術展 受賞者作品展

期 間 11月5日(火) 正午～  
11月14日(木) 午後4時  
内 容 第66回茅野市美術展の受賞作品  
約15点を展示  
主 催 茅野市美術協会

### 水墨画展

期 間 11月25日(月) 正午～  
12月4日(水) 午後3時  
内 容 水墨画約30点を展示  
主 催 趣墨会

# 令和6年度茅野市高齢者大学冬の講座学生募集要項

**募集定員** 技能講座各20名（定員70名）

**募集期間** 令和6年10月30日（水）～11月11日（月）

**入学資格** 茅野市内在住の概ね60歳以上で、主体的に学ぶ意欲を持ち、ほぼ全ての開講日を受講できる方。

**受講料** 1,000円（11月26日の初回講座受付時に集金）

**申込み方法** 上記募集期間内の平日午前9時～午後5時に、茅野市中央公民館（72-3266）まで電話で申込みをしてください。定員になり次第締め切ります。電話申込み後、入学願書を郵送しますので、初回講座時に受講料とともにご提出ください。



昨年の冬の講座作品展

## 学習内容

### ●教養講座【全員受講】

**演題** 「投資詐欺の実態、投資とは何か、贈与・相続について」

**日時** 12月3日（火）午後1時30分から午後3時30分

**講師** 小澤 青空 先生（長野証券茅野営業本部）  
五味 宏充 先生（長野証券茅野営業所所長）

**会場** 中央公民館2階 学習室

**講演内容** 近年、投資詐欺が急増しています。投資詐欺の種類や騙すための巧妙な新しい手口など具体的な実態を紹介します。また、投資とは何か、株の贈与、相続についても学べる講座です。

### ●技能講座【1講座を選択】

**水墨画・書道・俚謡・手あみ・絵手紙**

※各講座の内容・持ち物等は募集要項をご覧ください。

**【開講日】** ①11月26日（火） ②12月10日（火）  
③令和7年1月7日（火） ④1月21日（火）  
⑤2月4日（火）（全5回）

**【開講時間】** 午後1時30分～午後3時30分

**●開講式** 11月26日（火）午後1時15分～（技能講座開始前に開講式を行います）  
**受付** 午後0時45分～

**会場** 茅野市中央公民館（すべての講座を茅野市中央公民館で行います）

**その他** 詳しくは中央公民館または各地区公民館（各地区コミュニティセンター）で配布する募集要項をご覧ください（市ホームページからもダウンロードできます）。技能講座の申込み人数が極端に少ない場合には、その講座は開講できないことがあります。

# 縄文のビーナスプラン事業 夏やすみ こども体験教室

## 【親子茅野学講座】『地元の歴史遺産を学ぼう』報告

諏訪鉄山は、現在の蓼科中央高原にありました。鉄は日本の近代化と戦争に欠かせない大事な資源でした。終戦前には茅野駅から湖東花時<sup>はなまき</sup>の間に鉱石を運ぶ専用の鉄道が敷かれました。戦時中の採掘は、勤労働員された地元の中学生や連合軍捕虜<sup>ほりよ</sup>等も行っていました。

中央公民館では、地元のことをテーマにした【親子茅野学講座】を企画し、7月28日（日）にバスで現地を見学する体験教室を実施しました。その概要を報告いたします。



鉱床<sup>こうしょう</sup>を砕く発破用ダイナマイトは、爆発事故を防ぐため、地面を深く掘り下げて土塁を築き、火薬庫で厳重に保管されていました。



ビーナスラインの一部は、鉱石を積んだ蒸気機関車が走った鉄山鉄道の線路跡です。



物語のもととなった捕虜収容所跡地の前で、講師の竹内心郁<sup>しんゆう</sup>先生に『月がのぼるまでに』（武田鉄矢作）を朗読していただきました。



転車台を必要とせず前後に走れる小型軽量の機関車（C12型）が使われました。同型の機関車が茅野駅前に保存されています。



難しいと思われがちな地元の歴史遺産ですが、講師の宮坂敏郎先生にわかりやすく解説していただきました。



《参加者の感想》 諏訪鉄山には以前から興味を持っていました。今回はここが舞台のもととなった物語の朗読もあって、地域の人と捕虜との交流の様子について考えることができました。捕虜収容所長が優しく、捕虜の扱いとかも違っていただけを知りました。自分の中で、戦時中の歴史の印象が変わるよい勉強の機会となりました。（中学生）

※【親子茅野学講座】は、ふるさとの歴史に親子で一緒に目を向けてみるよい機会になりました。  
※現地を巡り学び得たことの中には、夏休みの“調べ学習”のヒントになるものもありました。見つけた課題が、個人追究でさらに深まることを願っています。



分館あ・ら・か・る・と  
**泉野 小屋場分館**  
 257

小屋場区は、八ヶ岳の美しい景観を臨む泉野地区にあります。世帯数は50戸以下となる小さな区です。

近年、少子高齢化が進み、コロナ禍の影響も相まって、公民館行事への参加者は減少傾向にありますが、役員皆で力を合わせて、区の人に少しでも楽しんでいただけるようにと思っています。

1月のどんと焼きは、子どもたちと教養部が主体となり行います。準備の段階から楽しむ子どもたちの姿はほほえましく、気持ち温かくなります。

夏には体育部が主体となり、バーベキュー大会が行われます。大人はビール等を飲みながら肉や魚介類をつまみ、世間話に花を咲かせ、子どもた



▲ 小屋場から眺める八ヶ岳

ちはスイカ割りや花火大会、肝試し等、夏休みの一日を地区の方と一緒に楽しみます。

11月に行われるふるさと祭りでは、小屋場区は豆腐汁を担当します。代々レシピが受け継がれ、

婦人部の皆さんの活躍により、他の地区の方からもおいしいと言っていただけです。2回、3回とおかわりに来る方もいま



▲ 区内にある石碑群

す。泉野地区の中でも小屋場区は小さな区であり、年々人口も減りつつありますが、5月に行われる泉野地区ソフトボール大会では、若者が中心となって一致団結し、今年と昨年は良い成績を収めることもできました。

子どもから大人、お年寄りまで皆で協力し助け合う、そんな小屋場区に移住し、この地で生活できることが、私の財産であり、次の世代によりよく引き継いでいきたいと思っています。

(小屋場分館長 長尾 稔則)

ふるさと発見★67

長野県は宇宙県



「長野県は宇宙県」と言われています。

平均標高が日本で宇宙に近いこと、77全市町村で天の川が見える美しい星空があること、100年以上前から天体観測家が活躍し、豊かな天文文化があることなど、その理由はいくつもの挙げられます。

県内の歴史ある天文・宇宙研究施設は今なお進化を続けながら、これからの宇宙県を創り出そうとしています。県外の宇宙ファンも足を運ぶ人気スポットですが、皆さんは訪れたことがありますか。

国立天文台野辺山宇宙電波観測所(南牧村)は、世界最高精度を誇る45mアンテナを間近で見ることができ、野辺山高原は、電波

ノイズや水蒸気が少なく、ミリ波観測に適しています。前身である太陽電波観測所として1969年に開所してから55周年で、日本の電波観測はじまりの地として注目されています。

64mアンテナがある白田宇宙空間観測所(佐久市)は、1984年に設置され40周年です。宇宙探査機との通信を行う地上局として数々のミッションを支え、2021年からは、高性能54mアンテナが新たに設置され、次世代探査でも欠かせない存在です。

世界屈指のシュミット望遠鏡を持つ東京大学木曾観測所(木曾町)は、1974年に開所し、50周年を迎えました。最新観測システム「トモエゴゼン」により、超新星や微小惑星の発見など次々と成果を出しています。

こうした長野県と宇宙のつながりを私たちがひとりひとりが知っていることも宇宙県の大事な要素です。魅力がもつと広まるといいですね。

(八ヶ岳総合博物館 渡辺真由子)